

平成26年3月  
富山市（富山県）

○計画期間：平成24年4月～平成29年3月（5年）

## I. 中心市街地全体に係る評価

### 1. 平成25年度終了時点（平成26年3月31日時点）の中心市街地の概況

本市は、平成26年度末に予定されている北陸新幹線開業を控え、交流・定住人口の拡大や魅力あるまちづくりなど、開業後を見据えた取り組みを具体的に推進しているところである。

平成25年度は、第2期富山市中心市街地活性化基本計画の基本方針である「公共交通や自転車・徒歩の利便性の向上」に位置付けた主要事業では、北陸新幹線開業に向けての富山駅周辺整備事業（富山駅周辺地区土地区画整理事業、富山駅自由通路整備事業、富山駅路面電車南北接続事業等）が順調に進捗している。また、「市内電車西町付近新停留所設置事業」が平成25年5月に完了したことにより、中心市街地へアクセスしやすくなり、路面電車の利便性の向上につながっている。

「富山らしさの発信と人の交流による賑わいの創出」に位置付けた主要事業では、中心市街地において新たな賑わい拠点となる公益施設（ガラス美術館、図書館本館、業務施設等）を複合的に整備する「西町南地区第一種市街地再開発事業」が、平成25年4月から施設建築物工事に着手し、平成27年3月の完成に向けて順調に進捗している。

また、商業施設、映画館、ホテル及び駐車場からなる複合施設を整備する「総曲輪西地区第一種市街地再開発事業」については、平成25年2月に再開発組合の設立が認可され、平成28年2月の完成に向けて準備を進めているところである。

さらに、商業・業務施設、居住施設からなる複合施設を整備する「総曲輪三丁目地区第一種市街地再開発事業」が平成25年2月に再開発準備組合が設立されたため、基本計画の変更を申請し、7月25日に国の認定を受けた。

この新たな賑わい拠点の創出により、第1期計画で整備した賑わい拠点である「グランドプラザ」、「総曲輪フェリオ」周辺との相乗効果が生まれ、「路面電車市内線一日平均乗車人数」、「中心商業地区の歩行者通行量」の増に寄与するものと見込んでいる。

「質の高いライフスタイルの実現」に位置付けた主要事業では、「西町東南地区第一種市街地再開発事業」による共同住宅の完成、まちなか居住推進事業の利用が順調に推移しており、中心市街地の居住人口の社会増加に寄与している。

その他、計画区域内の民間の分譲マンションの販売が好調であり、今後も新たな建設が予定されていることや、富山駅周辺や中心商店街において飲食店等の新規出店が増えたことなど民間の投資意欲も活発となってきている傾向は継続しており、中心市街地活性化に向け、好ましい状況が見られる。

また、第2期計画に掲げた「市民が主役」となる体制や仕組みづくりの構築のために創設した「まちなか活性化事業サポート補助金」の活用、大学連携事業として実施している「学生まちづくりコンペティション」への参加や「富山まちなか研究室 MAG.net」を拠点とした学生の街なかでの活動が定着してきているなど、市民が中心となった活性化事業が活発化しており、事業に参画した市民一人一人に中心市街地活性化を担う主役としての意識が芽生えてきているという効果が表れてきている。

## 2. 平成 25 年度の取組等に対する中心市街地活性化協議会の意見

第2期計画に位置付けた事業について、行政と協議会をはじめとする関係者が連携・協力しながら取り組むことができた。

協議会としても、計画の進捗を注視しながら、必要に応じた助言・支援等を行う一方、講演会の開催等を通じ、中心市街地活性化の機運の醸成に努めてきている。

こうした取組の結果、第2期計画が目指している「市民が主役」となる体制や仕組みづくりが構築されつつあり、計画は概ね順調に進捗していると評価する。

## II. 目標毎のフォローアップ結果

### 1. 目標達成の見通し

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値	前回の見通し	今回の見通し
公共交通や自転車・徒歩の利便性の向上	路面電車市内線一日平均乗車人数	11,022 人/日 (H22)	13,000 人/日 (H28)	11,539 人/日 (H25)	—	①
富山らしさの発信と人の交流による賑わいの創出	中心商業地区の歩行者通行量(日曜日)	27,407 人 (H23)	32,000 人 (H28)	21,802 人 (H25)	—	①
質の高いライフスタイルの実現	中心市街地の居住人口の社会増加	332人 増 (H17/10～ H22/9)	390人 増 (H23/10～ H28/9)	255人 増 (H23/7～ H25/6)	—	①

#### <取組の進捗状況及び目標達成に関する見通しの分類>

- ①取組（事業等）の進捗状況が順調であり、目標達成可能であると見込まれる。
- ②取組の進捗状況は概ね予定どおりだが、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。
- ③取組の進捗状況は予定どおりではないものの、目標達成可能と見込まれ、引き続き最大限努力していく。
- ④取組の進捗に支障が生じているなど、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。

### 2. 目標達成見通しの理由

平成 25 年度の路面電車市内線一日平均乗車人数は 11,539 人であり、目標達成に寄与する主要事業が完了していないなかで前年とほぼ同程度で推移し、基準年値と比較し 4.7%増加している。

要因としては、「市内電車西町付近新停留所設置事業」が平成 25 年 5 月に完了したことにより、利便性が向上し、利用者数の底上げにつながったことや、実施中である「おでかけ定期券事業」の利用が浸透したこと、第1期計画で整備した路面電車環状線の乗車と組み合わせたイベントが民間主体で行われるようになってきていることなどが考えられる。

その他、新たな賑わい拠点の整備である「西町南地区第一種市街地再開発事業(ガラス美術館、図書館本館、業務施設等)」を始めとした目標達成に寄与する主要事業による乗車人員の増を想定しており、事業が計画どおり進捗していることから、平成 28 年度における目標達成は可能であると見込んでいる。

中心商業地区の歩行者通行量については、平成 25 年の最新値は 21,802 人と、基準値を下回る結果となった。

歩行者通行量は、状況把握を平均化するため年 4 回(3 月、5 月、8 月、11 月)調査の平均値を用いているが、平成 24 年 3 月調査では 33,247 人となるなど、調査時期によっては目標値を上回る結果も出ており、第1期計画で整備を行った賑わい拠点である「グランドプラザ」や「総曲輪フェリオ」等が着実に新たな賑わいを創出してきていると考えられる。

一方、第1期計画での整備未実施地点周辺では、歩行者通行量の減少傾向が継続し、全体の通行量にも影響したため基準値を下回る結果となったと考えられる。

このような状況の中、今後、第2期計画に位置付けた「西町南地区第一種市街地再開発事業」や「総曲輪西地区第一種市街地再開発事業」等により新たな賑わい拠点が整備され、「グランドプラザ」

等との間に回遊性が生まれることにより、まちなかの賑わいが、点から線へ、さらに面的に広がると考えられる。

現在、これらの事業は、順調に推移しており、引き続き取り組むことで目標達成は可能であると見込んでいる。

中心市街地の居住人口の社会増加については、第1期計画に位置づけていた「中央通り f 地区第一種市街地再開発事業」による共同住宅の完成(平成24年4月)や第2期計画に位置づけている「西町東南地区第一種市街地再開発事業」による共同住宅の完成(平成24年10月)に加え、まちなか居住推進事業の効果等により、平成23年7月から平成25年6月で255人の増加となった。

今後、計画区域内の民間の分譲マンションの新たな建設も予定されており、目標達成は可能であると見込んでいる。

### **3. 前回のフォローアップと見通しが変わった場合の理由**

前回フォローアップの実施から変更はない。

#### 4. 目標指標毎のフォローアップ結果

「公共交通や自転車・徒歩の利便性の向上」 ※目標設定の考え方基本計画 P62～P66 参照

##### ●調査結果の推移



年	(単位)
H22	11,022 人 (基準年値)
H23	11,476 人
H24	11,564 人
H25	11,539 人
H26	
H27	
H28	13,000 人 (目標値)

※調査方法；実測値による平均人数

※調査月；通年

※調査主体；富山地方鉄道株式会社

※調査対象；路面電車市内線

##### ●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

###### ①. 西町南地区第一種市街地再開発事業（西町南地区市街地再開発組合）

事業完了時期	【未】平成 26 年度
事業概要	旧大和百貨店跡地に公益施設(ガラス美術館、図書館本館、業務施設等)を複合的に整備し、市民が気軽に集い、憩える文化・情報交流拠点とする事業である。
事業効果又は進捗状況	西町南地区市街地再開発準備組合が平成 24 年 2 月に本組合に移行し、平成 24 年 12 月から既存建物の解体、平成 25 年 4 月から施設建築物工事に着手し、平成 27 年 3 月の完成に向けて準備を進めている。

###### ② 総曲輪西地区第一種市街地再開発事業（総曲輪西地区市街地再開発組合）

事業完了時期	【未】平成 27 年度
事業概要	市街地再開発により、商業施設、映画館、ホテル及び駐車場からなる複合施設を整備する事業である。
事業効果又は進捗状況	総曲輪西地区市街地再開発準備組合が平成 25 年 2 月に本組合に移行し、平成 28 年 2 月の完成に向けて準備を進めている。

③ 富山駅路面電車南北接続事業（富山市/富山地方鉄道株）

事業完了時期	【未】平成 31 年度
事業概要	北陸新幹線開業に併せ新幹線高架下まで路面電車の軌道を整備する事業であり、将来的には富山ライトレールとの接続によりLRTネットワークの形成を図るものである。
事業効果又は進捗状況	平成 25 年 4 月に「軌道運送高度化実施計画」の認定を受け、新幹線高架下までの路面電車の軌道を整備する事業については、北陸新幹線開業に併せた完成に向けて順調に事業が進捗している。

④ 市内電車西町付近新停留所設置事業（富山市/富山地方鉄道株）

事業完了時期	【済】平成 25 年度
事業概要	旧西武百貨店付近にて環状線新停留所を設置し、利便性の向上を図る事業である。
事業効果又は進捗状況	平成 25 年 5 月に事業が完了したことにより、中心市街地へアクセスしやすくなり、路面電車の利便性の向上につながっている。 新停留所開業以降の6ヶ月について、把握可能な利用者数である「IC カードにより運賃支払した降車人数」のデータで周辺停留所を含む4停留所の利用者数を前年度と比較したところ、どの月においても増加しており、地区全体の利用者数の底上げに繋がっていると考えられる。

⑤ おでかけ定期券事業（富山市）

事業完了時期	【実施中】平成 28 年度
事業概要	市内在住の 65 歳以上の高齢者が、バス・鉄道・路面電車でおでかけ定期券を利用すると100円で中心市街地に来街することが出来る事業である。
事業効果又は進捗状況	平成 25 年度のおでかけ定期券利用による路面電車市内線の一日平均乗車人数は 405 人であり、目標達成に寄与している。

●目標達成の見通し及び今後の対策

平成 25 年度の路面電車市内線一日平均乗車人数は 11,539 人であり、目標達成に寄与する主要事業が完了していないなかで前年とほぼ同程度で推移し、基準年値と比較し 4.7%増加している。

要因として、「市内電車西町付近新停留所設置事業」が平成 25 年 5 月に完了したことにより、中心市街地へアクセスしやすくなり、路面電車の利便性が向上した結果、利用者数の底上げにつながったことや、実施中である「おでかけ定期券事業」の一日平均乗車人数が平成 23 年度の 288 人から平成 25 年度には 405 人と 40.6%増加するなど、利用が浸透してきたことなどが考えられる。

さらに、第1期計画で整備した路面電車環状線の乗車と組み合わせたイベント(路面電車 1 日券と富山名物のグルメとをセットにした券を販売し、食べ歩きを楽しむイベント、路面電車の車内で音楽ライブを行うイベントやワインを楽しむイベントなど)が引き続き民間主体で行われており、乗車人員の増に寄与していると考えられる。

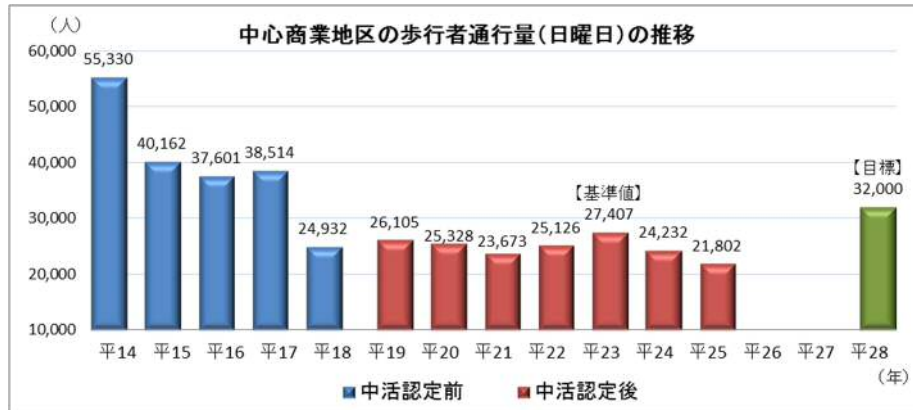
その他、目標達成に寄与する主要事業として、新たな賑わい拠点の整備である「西町南地区第一種市街地再開発事業(ガラス美術館、図書館本館、業務施設等)」や「総曲輪西地区第一種市街地再開発事業(商業施設、映画館、ホテル及び駐車場)」、平成 26 年度末に予定されている北陸新幹線の開業に併せて駅南口交通広場から新幹線高架下まで路面電車を延伸する「富山駅路面電車南北接続事業」による乗車人員の増を想定しているが、現時点では事業が未完了であるため効果が現れていない。

しかし、主要事業が計画どおり進捗していることから、引き続き計画に取り組むことで、目標達成は可能であると見込んでいる。

#### 4. 目標指標毎のフォローアップ結果

「富山らしさの発信と人の交流による賑わいの創出」※目標設定の考え方基本計画 P67～P72 参照

##### ●調査結果の推移



年	(単位)
H23	27,407 人 (基準年値)
H24	24,232 人
H25	21,802 人
H26	
H27	
H28	32,000 人 (目標値)

※調査方法；中心商業地区 8 地点、11 時間連続調査

※調査月；3、5、8、11 月の平均

※調査主体；富山市・富山商工会議所

※調査対象；歩行者・自転車

##### ●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

- ① 西町南地区第一種市街地再開発事業（西町南地区市街地再開発準備組合）

「【再掲】P3 参照

- ② 総曲輪西地区第一種市街地再開発事業（総曲輪西地区市街地再開発準備組合）

「【再掲】P3 参照」

##### ●目標達成の見通し及び今後の対策

中心商業地区の歩行者通行量については、平成 25 年の最新値は 21,802 人と、基準値を下回る結果となった。

歩行者通行量は、状況把握を平均化するため年 4 回(3 月、5 月、8 月、11 月)調査の平均値を用いているが、平成 24 年 3 月調査では 33,247 人となるなど、調査時期によっては目標値を上回る結果も出ており、第 1 期計画で整備を行った賑わい拠点である「グランドプラザ」や「総曲輪フェリオ」等が着実に新たな賑わいを創出してきていると考えられる。

一方、第 1 期計画での整備未実施地点周辺では、歩行者通行量の減少傾向が継続し、全体の通行量にも影響したため基準値を下回る結果となったと考えられる。

このような状況の中、今後、第 2 期計画に位置付けた「西町南地区第一種市街地再開発事業(ガラス美術館、図書館本館、業務施設等の整備)」や「総曲輪西地区第一種市街地再開発事業(商業施設、映画館、ホテル及び駐車場からなる複合施設)」等により新たな賑わい拠点が整備され、「グランドプラザ」等との間に回遊性が生まれることにより、まちなかの賑わいが、点から線へ、さらに面的に広がるものと考えられる。



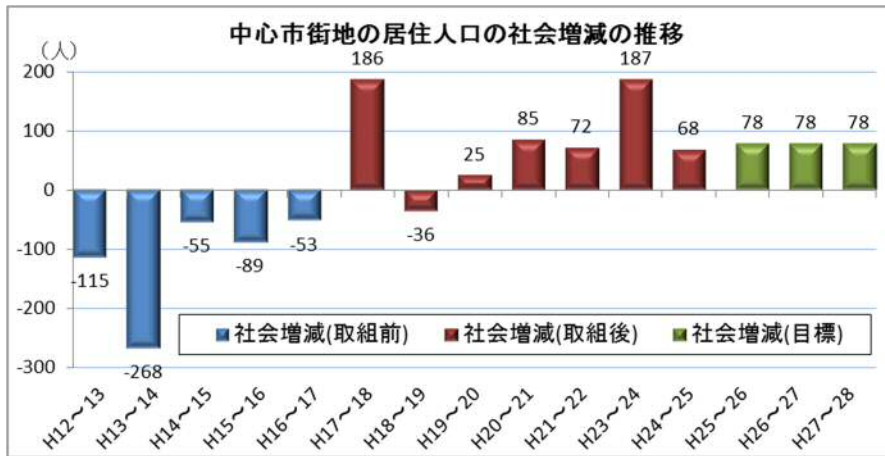
この賑わい拠点の創出と、北陸新幹線開業による歩行者増を合わせて 7,922 人の歩行者増を見込んでいる。

現在、これらの事業は、順調に推移しており、引き続き取り組むことで目標達成は可能であると見込んでいる。

#### 4. 目標指標毎のフォローアップ結果

「中心市街地の居住人口の社会増加」※目標設定の考え方基本計画 P73～P75 参照

##### ●調査結果の推移



年	(単位)
H17～22	332 人増 (基準年値)
H23～24	187 人増
H24～25	68 人増
H25～26	
H26～27	
H27～28	
H23～28	390 人増 (目標値)

※調査方法；住民基本台帳データに基づく

※調査月；毎年7月～翌年6月

※調査主体；富山市

※調査対象；中心市街地の居住者

##### ●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

###### ①. 西町東南地区第一種市街地再開発事業（西町東南地区市街地再開発組合）

事業完了時期	【済】平成24年度
事業概要	116戸の共同住宅を計画する、まちなかの居住人口増加を図る事業である。
事業効果又は進捗状況	平成24年10月に共同住宅が完成し、事業が完了した。 なお、116戸は共同住宅完成前に完売しているため、中心市街地の一世帯あたりの人員2.17人より積算し、251人の中心市街地の居住人口の社会増加に寄与したと見込んでいる。

###### ③ まちなか居住推進事業（富山市）

事業完了時期	【実施中】平成28年度
事業概要	まちなかにおける住宅取得に対する支援や家賃に対する助成などを行い、まちなかの居住人口増加を図る事業である。
事業効果又は進捗状況	平成24年度以降の累計利用件数は、住宅取得補助137件、家賃助成308件であり、中心市街地の一世帯あたりの人員2.17人より積算し966人の中心市街地の居住人口の社会増加に寄与したと見込んでいる。

##### ●目標達成の見通し及び今後の対策

中心市街地の居住人口の社会増加については、第1期計画に位置づけていた「中央通り f 地区第一種市街地再開発事業」による共同住宅の完成(平成24年4月)や第2期計画に位置づけている「西

町東南地区第一種市街地再開発事業」による共同住宅の完成(平成 24 年 10 月)に加え、まちなか居住推進事業の効果等により、平成 23 年 7 月から平成 25 年 6 月で 255 人の増加となった。

今後、計画区域内の民間の分譲マンションの新たな建設も予定されており、目標達成は可能であると見込んでいる。